

意見を表現できるという実践的な活動を体験する機会を増やしていきたい。

条例制定に向け、最も重点を置きたい条約の条項は、第十二条の意見表明権である。条例制定過程においても、そのことを念頭に置き、また、制定後も施策にしっかりと反映されるような具体的な仕組みづくりが必要と考えている。

女性専門外来窓口

芦原進(公明党)

問 札幌医大附属病院では、内科、婦人科などに女性専門外来の整備を進め、市立旭川病院においても、本年四月から内科に女性専門外来を開設した。そのどちらも非常に予約が多いということであり、まだまだ潜在的に女性専門外来での診察を希望する女性がいるということである。民間病院では対応しにくい医療を、市立札幌病院が行うことはその役割の一つでないか。

市立札幌病院での本格的な女性専門外来設置に向け、まず、専門の相談窓口開設が必要と考えるが、開設する時期はあるのか、また、開設の時期はいつか。

答 今年秋をめどに相談窓口を開設したいと考えている。その体制については、女性患者が気軽に相談できるような窓口づくりを目指して、現在検討を進めている。

医療費助成制度

伊藤理智子(共産党)

問 道の医療費助成制度見直しに対し、市として、道に対し改善を申し入れるべきと考えるかがか。

また、市独自に、負担の軽減策など改善を図るべきであるが、いかがか伺いたい。

答 道の見直しについては、十分な協議を行った上で政策決定を行うよう、市長会から知事に対し申し入れを行った。市独自の改善策としては、道の基準に従いながらも、通院については一医療機関当たり月額三千円の上限を設けるなど、特に重度心身障がい者に配慮した軽減策を講じたところである。

福祉政策

佐藤典子(市民ネット)

問 従来の乳幼児健診の質を

高めるべきと考えるが、いかがか伺いたい。

答 健診体制の充実を図るため、関係職員による検討会を今年度設置した。職員に対する研修の充実も図り、より質の高い健診を目指したい。

上田市長就任成果と市長給与5%引き下げ

松浦忠(改革クラブ)

問 行財政改革を進める上で、市長の姿勢が最も重要である。改革を公約として選ばれた上田市長は、自らの決意を示すために、市長給与を5%引き下げてはどうか。

答 札幌市民と市全体の将来を見据えながら、改革の先頭に立つて取り組んでいくことでその姿勢を示し、評価されるよう努めていきたい。

委員会の主な活動状況

(六月一日～七月十日)

■総務委員会

▲六月七日▽
本会議から付託された議案の審査を行いました。

▲六月二十五日▽
「憲法を市民に知らせる活動・行動等を求める陳情」の初審査を行い、継続審査とし

ました。また、自治基本条例制定に向けた取り組みについて、市民局から説明を聴取し、質疑を行いました。

■文教委員会

▲六月七日▽
本会議から付託された議案の審査を行いました。また、特色ある札幌市立高等学校づくりについて、学校給食従事者の検査について、教育委員会から説明を聴取し、質疑を行いました。

▲六月二十三日▽

札幌市教育推進計画素案について、教育委員会から説明を聴取し、質疑を行いました。

■環境消防委員会

▲六月七日▽
本会議から付託された議案の審査を行いました。

▲六月二十三日▽

「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

■厚生委員会

▲六月七日▽
本会議から付託された議案の審査を行いました。また、「重度心身障害者医療給付事業の存続・拡充を求める陳情」、「医療費助成制度の存続を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

■建設委員会

▲六月七日▽
本会議から付託された議案の審査を行いました。

■経済公営企業委員会

▲六月七日▽
札幌芸術の森(南区芸術の森)を視察しました。



所管施設を視察する経済公営企業委員
～札幌芸術の森・野外ステージ

■税財政制度調査特別委員会

▲六月二十二日▽
「三位一体の改革」について、平成十七年度国家予算に関する要望について、財政局から説明を聴取し、質疑を行いました。

■出資団体等調査特別委員会

▲六月八日▽
第三者評価委員会の設置、出資団体数の減少などについて、総務局、企画調整局、財政局から説明を聴取し、質疑を行いました。